

後期後半 子供たちの活躍

後期前半は、多くの教育活動や保護者・地域の皆様の学校支援によって子供たちの成長がみられました。

○児童によるボランティア活動

「Good あいさつ運動」「Clean up 大作戦」の活動により、挨拶があふれる学校になってきました。「挨拶の効果」は、「声をかける効果」となり、朝、高学年の子供が困った表情をしていた下学年を助けようと「先生、私と一緒にいきます。」と言ってくれます。また、朝の「Clean up 大作戦」は約★分の活動ですが、「団結は力なり」という言葉どおり、この活動でないとなかなか叶わなかったであろう校庭の草や溝がきれいになりました。ある糟屋地区小学校の校長先生が本校を訪問されたとき、「この学校は、きれいにしていますね。」とお声かけてくださったぐらいです。

○創立150周年記念式典に向けた取組

「みんなでつなごう 150周年のバトン」をスローガンに、思い出に残る記念式典になるよう、志免中央小卒業生の方々、地域の方々がアイデアを出し合い、子供たちも本校キャラクター「かめ太郎」の150周年記念バージョンを考えるなど、チーム志免中央小の皆さんで取り組みました。「チームの力はすごい」と思う記念式典となりました。

○算数科の研究発表会

12月1日(金)に、糟屋地区小学校の先生方に算数科の授業を公開しました。この日までに予習に取り組んだり、自分たちで解決に向かうような話し合い活動を行ったりしてきました。参加していただいた先生方から、「予習を生かして、子供たちの多くが進んで発表し、学習に取り組む姿がよかったです。」などの感想を頂戴しました。自習のクラスも、子供たちが自分で学習をすすめていたことから、「算数科の取組によって、自分で進んで問題解決に向かう習慣が身に付いていますね。」とおっしゃっていただきました。他教科での学びにも生かしているようです。

親子の会話で子供をSNSのトラブルから守っていきましょう

SNS等の利用で子どもの交友関係が飛躍的に広がることで、トラブルになる可能性がございます。そこで、大事なものは「親子の会話」です。また、ご家庭のルールは友達にも伝えるように子どもに働きかけることも大事です。友達が相手の家のルールを理解していないと、ルールが守られなくなっていくからです。ご家庭の状況、お子様の年齢に応じて、ルールを見直していきましょう。



ボランティア活動の様子を校内放送で子供たちに伝えました。校長室のテレビモニターで写真をパシリ！活動の様子がわかる動画でした。



「この問題、自分たちで解決しなければ！」と思った子供たちは、算数で使う視点を基に、友達と話し合いながら解決に向かおうとする様子がありました。

